

リニューアルしました！ 第1号

# 全国自立援助ホーム協議会便り

発行日：2013年12月26日

ホームページもリニューアル！

<http://zenjienkyou.fc2rs.com/>

アドレスバーに入力してね♡



## 【巻頭あいさつ】

全国自立援助ホーム協議会便りの発刊に寄せて 会長 星 俊彦

東京大会ではお世話になりました。

開催にご尽力いただいた多くの皆様に、心より感謝を申し上げます。

さて、内容はいかがだったでしょうか？長谷場先生のお話しは、どのように

皆様の胸に響いたでしょうか？大会での精神的な高揚が引いてしまう前に、参加できなかった方も含めて、話しの輪を拡げ、それぞれの場所で深めていっていただきたいと存じます。自立援助ホームには、社会的養護のシステムの中で課せられた、特別な使命があります。それはシステムをより良いものにしていくために「結果についての情報」を、全体にフィードバックしていくということです。私たちは、それをしなければいけない位置に立っています。私たちは、それを「目の前の、この一人の子どもの存在」を大切にする、あきらめない、共に生きていく、そんな実践を通して果たしていきましょう。



全国自立援助ホーム協議会 20回記念東京大会 (2013年10月28日～29日 東京品川プリンスホテルにて)

## 【第20回 自立援助ホーム全国大会実行委員の感想】 あすなろ荘 恒松 大輔

今回で20回目を迎えた全国大会を東京で開催することとなり、都内19のホームとシェルターで1年かけて準備をしてきました。協議会も20周年ということで、人間で言えば成人を迎えたこととなります。自立援助ホームにとって、20年というのは、とても意味のある数字であると思います、これまでの20年間の自立援助ホームの歴史を振り返り、そこから見た現状、これからのホームの役割を考えていくきっかけの大会にしたいと思い「過去・現在・未来」というテーマでやらせていただきました。当日は雨も心配されましたが、全国より参加した270名の方が各プログラムでとても熱の入ったご議論をしていただき、また交流会では皆さんの日頃の大変さを忘れ、笑顔で楽しめる会となることができました。

翌日からは、それぞれの場所でご活躍できるための、充電ができたのではないかと実行委員一同思っています。参加された皆様、本当にありがとうございました。



## 全国自立援助ホーム協議会全国大会 後援・協賛団体のご紹介 (敬称略・順不同)



厚生労働省 / 東京都 / 社会福祉法人全国社会福祉協議会

全国児童養護施設協議会 / 児童虐待防止全国ネットワーク / 社会福祉法人東京都社会福祉協議会

東京都社会福祉協議会児童部会 / 東京都共同募金会 / 日本財団 / 原田積善会

SBI子ども希望財団 / エキスパートチャリティアソシエーション / フィリップモリスジャパン株式会社

\*皆様の御支援、御協力に心より感謝申し上げます\*

## 【全国大会に参加して】 みらい（茨城県） 江尻 飛鳥

今回、初めて自立援助ホーム協議会の全国大会に参加させて頂きました。日夜、子どもの為に苦慮されている方々が一同に集まり、意見交換する機会がもてたことで、日頃の活動を振り返る事ができました。各ホームの考えや経験、工夫などを知ることができ、貴重な体験になりました。また、全国にこれだけの仲間（と、勝手に呼んでしまいますが）がいることを肌で感じ、顔を突き合わせることで、自分自身が勇気づけられるような思いにもなりました。

基調講演での長谷場先生のお言葉には、一番傍らで子ども達と関わり、その成長を支える大人として、常に自分を研鑽することや、子ども達と同じ目線に立つことの大切さを、改めて気づかせて頂きました。

分科会やシンポジウムでは、入居から退居までが自立援助ホームの支援ではなく、社会に出て生きている子を支援することこそが、自立援助ホームの本質である、という言葉にハッとさせられました。当然ながら子ども達の人生は、ホームを巣立ってからの方が遥かに長く厳しいものです。

彼、彼女らが、辛い時、悲しい時、或いは喜びを分かち合いたい時、支え、立ち返る場所として、ホームをつくっていききたいと思います。



分科会



## 【東京大会の感想】 アリス（北九州市） 城戸 直美

私は今まで子どもばかりに観点を置いていましたが、自分の後ろ姿や生き様を見本として学ばせる事、その為には自分自身を磨く事が大切なのだと知りました。また、職員の関わりと子どもへの影響はイコールではなく、性格、要求、環境、心情により受け取り方も違う為、マニュアルには正解が無いと教えて頂きました。だからこそ日々の関わりが重要で、相手を理解していなければ心地よい応答はできないと学びました。それから、アフターケアが何よりも大切で、退居状態が悪くても繋がれる部分を残しておく事が必要だと、話がありました。退居後も頼り、職員の存在が辛い時や孤独を感じた時の糧となり、子どもが気軽に里帰りできる場というのは、私たちの特権かも知れません。病院ではできない、私たちのカウンセリングは日々の関わりの中で行われ、ただゆっくり話を聞いているだけでも子どもへの響きは大きく、信頼する人がいなかった子どもが、私たちの場を居場所と感じてくれる事も素晴らしい事だと思います。生まれ育った環境が不運な為に、早期自立を強いられ、社会に飛び出す子どもが沢山いますが、そんな子どもが自立援助ホームの存在で、一人でも多く救われればと思います。私たちだからこそできる支援があるという事を、改めて感じる事のできる場となりました。



シンポジウム

長谷場先生による 基調講演





自立援助ホームの「過去・現在・未来」をテーマに・・・



映像を用いて、東京のホーム紹介も行われました



分科会での  
一コマ



サプライズゲスト「タイガーマスクバンド」



## 第21回（次回）全国大会開催県のご紹介「高知県」



南風 ホーム長 矢吹 富子

子ども達は今、貧困や虐待をはじめ、多くの深刻な課題を抱えた社会の中におかれており、児童虐待件数は増加の一方で、非行、少年犯罪やいじめ問題も深刻であり、広汎性発達障害を含む各種発達障害と児童虐待との関係も指摘されており、大きな社会問題となっています。

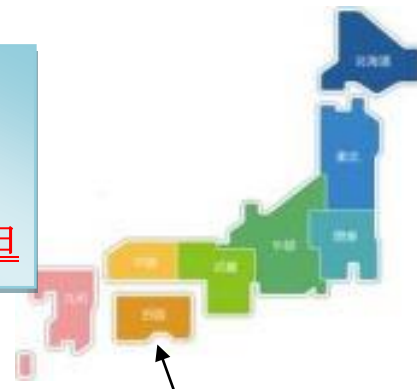
私たちは今、社会的養護の受け皿として、温かいご飯を用意して「ただいま」の声に笑顔で応える居場所。そんな自立援助ホームの『魂』を、自立援助ホームが、真に子どもたちのためのものであり続けるために、1人ひとりの、社会的養護の課題に主体的な関わりをもち「必要とされている」「褒められる」「愛される」「役に立つ存在」の4つの幸せを子ども達に渡すためにも、急激な制度上の変化とホーム数の増加に適応し、安定的な取り組みができるように「『高知家は、ひとつの家族やき』の『おもてなし県』」で「自立援助ホームの現状と未来について」おいしい鰹や地酒で大いに議論の輪を広げましょう。



自立援助ホーム協議会全国大会

高知県大会 開催日決定！！

2014年11月27日～28日



「自立援助ホーム 南風」ココです！



自立援助ホームの皆さん、こんにちは！慈泉寮の悪オヤジです。

慈泉寮は、平成3年1月1日という大変めでたい正月に開所しました。当初から約10年間は夫婦住込みでホームをやり繰りしていました。子どもたちのことで夫婦喧嘩もありました。(今もありますが・・・)その後、職員配置を考え、住込みを離れて通勤体制をとり、宿直ローテーションになりました。今まで継続されてきたのも素晴らしい奥様をはじめとするスタッフは勿論のこと関係機関とも上手くやってきたお蔭と感謝しています。長い年月の中で、全国の動きも変化してきましたが、特に思い出に残るのは、平成21年の法改正前後あたりに事務局長として「ポチボチ・プラプラ」ではなく、「バタバタ・ヒイヒイ」だったことです。まだまだ、これから変化していく時代ですので、皆さんと共に頑張っていきましょう！

【編集後記】 広報委員会 委員長 夢舞台 (埼玉県) 新井 秀親

皆様には、例年事務局から『事務局便り』をお送りしていましたが、事務局の負担が大きく、皆様にご迷惑をおかけしてしまうことがありました。その事務局の負担を和らげ、また新たな協議会における事業発展を目指していくこともあり、今後は新たに発足した広報委員会による『協議会便り』へと、このたび衣替えさせていただくことになりました。協議会の広報誌として発刊とあいなり、年2回発行の予定です。事務局の皆様には、今までのご苦勞に対して、心より感謝申し上げたいと思います。今回の協議会便りは、主催県のご苦勞や次期開催県の抱負、またホーム長紹介という内容を織り交ぜています。どこまで皆様のご期待に応えられるか不安も多いですが、広報委員一同力を尽くしていきたいと思ひます。

今年の全国大会は、20回記念東京大会ということで、主催県のご苦勞が多々あったと聞き及んでいます。来年の全国大会は、あの坂本竜馬という幕末の英雄を生んだ高知県です。幕末の歴史好きの自分には、楽しみでたまりません。あの土佐の地で仲間と共に『自立援助ホームの夜明け』を語り合いたいものです。

自立援助ホーム ガイドブック「さぼおとGuidー実践編ー」

発行者：全国自立援助ホーム協議会  
発行年月：2013年3月  
定 価：1000円

新しい制度への適応、運営の安定を目指すと共に  
「自立援助ホームとは何か」  
「共有しなければならぬ支援のあり方とは？」  
を命題にして作成されたハンドブックです。

【申し込み・お問合せ】

自立援助ホーム あすなろ荘：恒松



【広報委員】

- 新井 秀親 (夢舞台)
- 松木 良介 (憩いの家 経堂)
- 大橋 達也 (吾が家)
- 野原 知子 (マルコの家)

